



## 株式市場の変化

令和6年2月26日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらは先端産業とその変化における市場の上昇である。これらは経済環境の絶対的な変化を現実が有することの表れである。

これらは資本力と開発力、技術とインフラにおいて、その創造に勝る自己プレゼンスをこれら先端企業が有することを意味するものである。

これらはまだ、これら先端産業への投資と株価の上昇は続くものと思われる。これらは経済の構造的な変化が、株式へ現れていることなのである。

これらは既存産業がその技術の飛躍的進歩と資本力開発環境におけるその自己プレゼンスが、もはやその巨大性において、零細や既存産業がその比較を求めることができないのである。

これらはまた人的資源が、これらへの理解と能力を有し行いうることを他方において有するのである。これら知的進歩性が、競争原理と資本主義という自由経済ルールにおいて、経済の変化を今日有するものである。

これらは自由主義の有するルールなのである。これらが進歩を形成することは理解しなくては行かない。

これら経済の構造変化は、既存価値観を完全に崩壊させるものである。その資本力と製品力、技術力は、新しい未来とともに自己を有するからである。

これら新しいエリートと富の集約は、経済の原則の転換を与え、株式の高騰を今日を与えるものである。

これらは通貨レートの変化への正しい考察なのである。これらが、資本と通貨価値、産業における新しいグローバリゼーションという高揚であり、全ての企業はこれを否定することは不可能なのである。

